

平成31年4月25日（木）

国土交通省関東地方整備局 荒川上流河川事務所

武州ガス株式会社

公益財団法人 埼玉県生態系保護協会

記者発表資料

武州・入間川プロジェクト（官民連携による市民活動の助成事業）
の助成団体を選定しました。

平成30年12月1日より募集を開始した、「武州・入間川プロジェクト」（官民連携による市民活動の助成事業）に多数のご応募をいただき誠にありがとうございました。

「武州・入間川プロジェクト」では、4月16日(火)に第10回入間川環境保全支援委員会を開催し、応募団体の活動内容や助成内容を審査したうえ、別紙の団体（14団体）を選定しました。

【武州・入間川プロジェクト】

武州ガス株式会社（企業者）、荒川上流河川事務所（河川管理者）、（公財）埼玉県生態系保護協会（有識者）が主体となり、入間川流域で環境保全活動をされている市民団体等に、活動支援を行う新しい形の官民連携事業です。この取り組みにより、河川を軸とした地域社会の活性化はもとより、河川環境管理の質的向上を目指します。

発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ	川越新聞記者会	所沢記者クラブ
神奈川建設記者会	竹芝記者クラブ	

お問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 荒川上流河川事務所			
副所長	あらき 荒木	しげる 茂（内線 205）	
計画課長	いはら 井原	かずひこ 和彦（内線 261）	TEL049-241-0380
（公財）埼玉県生態系保護協会			
事務局長	どうもと 堂本	やすあき 泰章	TEL048-645-0570
武州ガス(株)			
企画部長	おおくぼ 大久保	ただお 忠夫	
企画グループマネージャー	よしの 吉野	たかし 高史	TEL049-241-9590

(別紙)

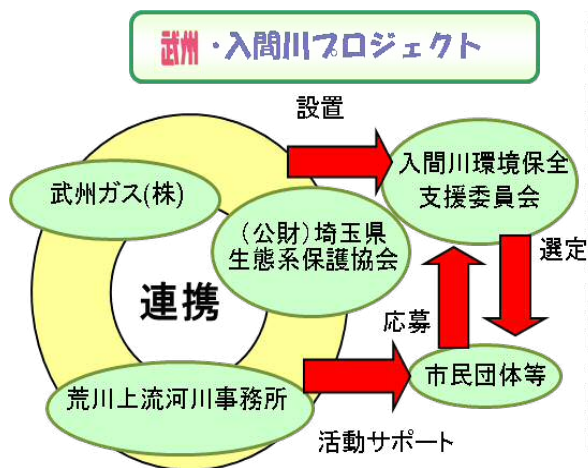
平成31年度助成団体一覧

番号	団体名	活動タイトル	団体種別	代表者	設立年	申請活動種別	活動期間	活動場所	主な助成希望内容
1	特定非営利活動法人 ジョイライフさやま	環境の未来と夢を 子どもたちとともに	特定非営利活動法人	久保田 慎三郎	2014年	環境保全活動	2019年4月～ 2020年3月	狭山市 (入間川)	河川樹林整備活動 生きもの調査 水質調査 カヤック体験 景観調査
2	上尾の自然を守る 教職員の会	三ツ又沼ピオトープの 自然環境を楽しむ会	市民団体	我孫子 繁子	1998年	環境・体験学習	2019年4月～ 2020年3月	川島町、川越市、 上尾市 (荒川)	親子自然塾三ツ又・遊んで学ぼう 浦和高等学園環境教育 竹林管理 パネル展示 七草採り・七草粥
3	特定非営利活動法人 荒川の自然を守る会	三ツ又沼ピオトープの 自然環境管理作業	特定非営利活動法人	菅間 宏子	1991年	環境保全活動	2019年4月～ 2020年3月	川島町、川越市、 上尾市	外来植物駆除と在来野草の育苗と移植活動 自然観察会 広報活動
4	比企の川づくり協議会	荒川流域の 河川文化シンポジウム	市民団体	渡辺 仁	2000年	講演会、 シンポジウム	2019年6月～ 11月	東松山市、嵐山町 他 (都幾川、視川 他)	荒川流域文化の企画会議 荒川流域の河岸見学・調査、 シンポジウムの開催
5	特定非営利活動法人 荒川流域ネットワーク	入間川一斉水質調査 及びマップ作成と報告	特定非営利活動法人	鈴木 勝行	1995年	自然環境調査	2019年4月～ 2020年3月	入間川水系 (入間川、小群川、越辺川、都幾 川、高麗川及びその支流)	水質調査説明会の開催 水質調査 水質調査結果MAPの作成・配布 シンポジウムにて報告
6	SUNJOY南小群川	アレチウリ駆除と減災、 海づらみ阻止活動	市民団体	安原 昭司	2013年	環境保全活動	2019年4月～ 11月	川越市 (南小群川)	アレチウリ駆除と雑木処理の継続活動 清掃活動
7	狭山市立入間川小学校	入間川探検隊	小学校	新井 忠洋	1874年	環境・体験学習	2019年4月～ 2020年3月	狭山市 (入間川)	植物観察 水質検査 生きもの調査 体験活動
8	NPO法人 はとやま環境フォーラム	鳩山における 自然環境調査保全活動	特定非営利活動法人	愛場 謙嗣	2007年	環境保全活動	2019年4月～ 2020年3月	鳩山町 (唐沢川、鳩川(辻川)、 越辺川)	水質(農業流出)調査 生物(ホトケドジョウ、トウキョウサンショウウオ、 ホタル)調査 広報活動
9	高麗川ふるさと会	清流高麗川プロジェクト	市民団体	三浦 輝夫	2003年	環境保全活動	2019年4月～ 2020年3月	坂戸市 (高麗川)	浅羽ピオトープ及びその周辺の環境整備(清掃活 動、草刈り、水辺の整備) 野鳥調査 水質調査 植生観察会の開催 広報誌発行
10	特定非営利活動法人 かわこえ里山イニシアチブ	生きもの育む 田んぼプロジェクト2019	特定非営利活動法人	増田 純一	2014年	自然環境調査 環境保全活動 環境・体験学習 講演会、シンポジウム	2019年4月～ 2020年3月	川越市 (入間川)	ピオトープのデザイン・設計・施工 田植え 他体験講座 生きもの調査 講演会
11	川島町網打連合会	和船製作および 船乗り体験会	市民団体	加藤 晃	1979年	環境・体験学習	2019年4月～ 2020年3月	川越市、川島町 (入間川、越辺川)	船乗り体験 船の製造過程の展示 清掃活動
12	埼玉県立いずみ高校	三ツ又沼ピオトープ 環境保全活動	高等学校	栗藤 義明	1962年	環境保全活動	2019年4月～ 2020年2月	三ツ又沼 ピオトープ	外来植物の除去 在来植物の発芽・生育試験 自然観察 ピオトープ保全活動 総括発表会
13	比企郡川島町立 つばさ南小学校	守ろう 川島の緑と水	小学校	柳澤 睦夫	2018年 (1873年)	環境保全活動	2019年4月～ 2020年3月	三ツ又沼 ピオトープ	現地学習(ハンノキ等の在来植物の育成管理) 学習発表会
14	川越の魅力育てる会	川越市古谷湿地エリア 「魚の生物調査報告」	市民団体	村松 隆	2010年	自然環境調査	2019年4月～ 7月	川越市 (麦生川、古谷湿地)	生きもの調査(魚) 自然観察会

1. 「武州・入間川プロジェクト」概要

「武州・入間川プロジェクト」は、武州ガス株式会社（企業者）、荒川上流河川事務所（河川管理者）、（公財）埼玉県生態系保護協会（有識者）が主体となり、入間川流域で環境保全活動を行っている市民団体等に、活動助成を行うものです。本プロジェクトは、これら三者の連携により、河川を軸にした地域社会の活性化と、河川環境管理の質的向上を目指します。

活動助成にあたっては、助成する市民団体等を募集し、別途学識者を含めた「入間川環境保全支援委員会」により助成団体を選定します。選定された団体に、助成金を交付（最大20万円）するだけでなく、必要により当該河川に関する情報提供、専門家、講師の派遣など活動をサポートいたします。



2. 助成対象期間

平成31年4月1日～令和2年3月1日の間に実施する活動

3. 選定結果

選定された団体名は別紙の通りです。

4. 平成30年度までの助成状況

武州・入間川プロジェクトでは平成22年度のプロジェクト開始以来9年間で累計111団体の活動を助成し、助成総額は16,400,795円となりました。



平成30年度武州・入間川プロジェクトの助成を受けた活動の様子
(水生昆虫探しの様子)

※今までの助成活動は、http://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/arajo_index049.htmlをご確認願います。

武州 入間川 プロジェクト

武州・入間川 プロジェクト とは

入間川流域で環境保全活動をされている市民団体等に対し、武州ガス・荒川上流河川事務所・埼玉県生態系保護協会が主体となりその活動を支援する助成事業です。

【趣旨】 入間川流域における地域社会の活性化を目指し、市民団体等が行う活動に対し費用助成を行います。

【助成対象】 市民団体、学校等の非営利団体による公益的な活動

【助成範囲】 入間川流域の8市8町1村
川越市、狭山市、入間市、鶴ヶ島市、日高市、川島町、坂戸市、鳩山町、毛呂山町、飯能市、東松山市、嵐山町、小川町、ときがわ町、越生町、寄居町、東秩父村での活動

【対象活動】 ① 原則として入間川流域（入間川、越辺川等）の河川内をフィールドとして行う河川環境の保全・再生・創出に貢献する活動等（河川清掃のみを目的とした活動等は対象外）
② 上記活動などに関するセミナー等の実施、河川環境・防災に関する学習活動

武州ガス と 入間川

武州ガスの創始者原次郎氏は、入間川の治水に、大きな功績を残しました。原次郎氏は、明治28年(1895年)埼玉県入間郡三芳野村紺屋(現在の坂戸市)に生まれ、水害の常習地帯である貧しい村の惨状を見て育ち、「治水を図り、貧困をなくすこと」を強く心に誓ったと言われています。昭和15年(1940年)には入間川水系改修期成同盟会会長として、治水に情熱を傾けました。そして昭和17年(1942年)には、この熱意が実を結び、入間川・越辺川・小群川が国の直轄河川に指定され、入間川水系の三川分流工事の実現など治水に尽力されました。



原次郎氏

武州ガスは、入間川流域を中心とした地域に密着した企業として、地域を支えるとともに、社会貢献活動に積極的に参加しています。入間川流域の次の世代に伝えていくため、先人の遺志を継ぎ、今回のプロジェクトに至りました。

入間川流域



武州・入間川プロジェクトでは、平成22年のプロジェクト開始以来、9年間で累計111団体が助成を受けて活動しています。

助成団体の主な活動紹介

[埼玉県立総合教育センター江南支所]



埼玉県内の公立高校から参加者を募り、外来植物の駆除として、セイタカアワダチソウやアレチウリ等の抜き取りなどの活動を行っています。

[狭山市立入間川小学校]



各学年の学習内容に合わせて、入間川で自然観察、カヌー・投網体験、水質検査、清掃を行い、年度末に学習発表会で活動成果を発表しています。

[埼玉県立いずみ高等学校]



いずみ高校・生物サイエンス科の2年生で行う「生態学基礎」の授業において、ミツ又沼ビオトープに侵入した外来種の駆除を中心とした自然環境保全活動を実施しています。

[NPO法人けやの森自然塾]



子供たちが、水生昆虫探しやカヌー体験などの川遊びを通し、川の変化や楽しさ、怖さを知り、自然を守る気持ちを養うための活動を行っています。

H30年度活動報告展の開催

武州ガス(株)展示スペース(川越アトレ)において、H30年度助成団体による活動報告展を開催しました。



※これまでの助成活動についてはこちらをご参照下さい。
→ http://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/arajo_index049.html

